

令和5年度
第4回朝日地域振興懇談会
会議録（概要）

期日：令和6年3月12日（火）

場所：朝日中央コミュニティセンター 大集会室

令和5年度 第4回 朝日地域振興懇談会会議録（概要）

- 日 時 : 令和6年3月12日(土) 18時30分から20時20分時まで
- 会 場 : 朝日中央コミュニティセンター 大集会室
- 出席委員: 青澤豊一、難波金一、進藤 享、宮崎ちよ、伊藤ます子、渡部 厳、
菅原邦義、難波一之、難波志津香 計9名
- 欠席委員: 宮崎 正、大瀧博勝、清野吉喜、今野めぐみ、伊藤比呂貴、伊藤由紀子
- 市側出席職員
 - 【庁舎】朝日庁舎支所長、総務企画課長、市民福祉課長、産業建設課長、
総務企画課 上野地域まちづくり企画調整主査、渡部専門員
 - 【本所】企画部地域振興課 齋藤地域振興専門員 計7名

一次 第一

1. 開 会

2. あいさつ

難波会長あいさつ

鶴見朝日庁舎支所長あいさつ

3. 報 告

- (1) 第2次鶴岡市総合計画後期基本計画(案)について
- (2) かたくり温泉利活用について

4. 協 議

- (1) 朝日地域振興計画(最終案)について
- (2) 令和6年度予算 朝日庁舎主要事業について
- (3) その他

5. そ の 他

6. 閉 会

1. 開 会 18時30分 (進行 総務企画課長)

2. あいさつ

難波会長あいさつ

鶴見朝日庁舎支所長あいさつ

3. 報 告

(1) 第2次鶴岡市総合計画後期基本計画(案)について

(2) かたくり温泉利活用について

4. 協 議

会長 それでは協議(1)について事務局より説明をお願いします。

(事務局説明)

会長 事務局から説明がありましたので、これらを踏まえて、皆様から質問、意見をいただきたいと思いますので、ご発言をお願いします。

委員 住民税申告のライン予約がとても使いやすかったので、市営バス予約もラインでできれば乗車人数や運行本数を調整できるのではないかと。

総務企画課長 市営バスは定時定路線運行であり予約制となっていないが、今後、新しい公共交通を検討する中で、デジタル技術の活用についても検討していきたい。

委員 地域振興計画案については、これまでの議論を反映した形でまとめられており良かったと感じている。これまで、朝日地域では人口減少対策として交流事業などに取り組まれてきたが人口減少は進んでいる。人口データが地域の何においても指標となり一番大事だと思う。生活環境の変化への対応も大事ではあるが、農道や林道、水路の維持も大変だ。

総務企画課長 現状の整理をしながら、人口減少対策として定住環境の維持や各種振興策など今後5年間に取り組むことができる施策を含めて、地域振興計画や地域まちづくり未来事業計画を作成している。ご意見をいただきながら、今後も人口減少対策として地域振興策を進めていきたい。

委員 ①鶴岡市での婚活事業として、現在「街コン」は行っているか。②人材育成という言葉があるが一人の力は限りがある。例えば、地域振興計画 P18(1)-①で、湯殿山スキー場への誘客推進とあるが、スノーボードは10代~20代の若者に人気があり県内外から多くの若者世代が訪れる場所だと思うので、そこで朝日地域の魅力に触れてもらってはどうか。湯殿山スキー場は予算も組み、しっかり整備して力を入れているので、そこで婚活事業をしたり、1日限定のナイターをしたりと、湯殿山スキー場は気軽に訪れる場所でもあるので、地域外の人達から朝日地域に興味を持ってもらえる活動ができればと考えている。

地域振興専門員 ①婚活支援対策は本所地域振興課で行っている。街コンについてはコロナ禍前には市で補助をしていた。現在はお見合い支援として世話焼き支援員を配置し、お見合

	い企画を行っている。
産業建設課長	②今シーズンの湯殿山スキー場は、他のスキー場で雪が少ないこともあり県外ナンバーのお客が多く入っている。湯殿山スキー場は、R（アール）天国として楽しめるゲレンデの壁面づくりをして知名度が高まっており、県外からも様々な年代のスノーボーダーやスキーヤーが多く訪れている。いただいたご意見のとおり、地域の魅力発信を行う場として活用したい。県外からのお客様から楽しんでいただくため、スキー場ではスノーボードを使ったイベントやスキー大会を行っているが、スキー場を活用した遊び方は少ないと認識している。以前、湯殿山スキー場に隣接するオートキャンプ場においてチームWaGeSho（ワゲショ）が行ったサウナ企画を冬期間に行ってみるとか、話し合いをしながらイベントを企画していきたい。
委員	朝日地域だけでなく、他地域の良い部分を集めて情報発信をしてもらいたい。県外からの誘客を進めるには、朝日地域だけではなく市全体の取り組みとしていくべきだ。鶴岡市の各地域で人口の増減を言っても意味がないので、市全域で人口が増える対策を進めないといけない。今の若い世代は経済的な負担が増えるので結婚をしない。若い世代がいないと何も成り立たなくなるので、根本的な部分を考えながら、若い世代を残す方法を鶴岡市全体で考えていかなければならない。今やっていることが無駄ではないが、朝日地域だけという考え方ではなく、将来的には鶴岡市全体で考えていかなければならないということを考えてもらいたい。
支所長	今回の計画では、朝日地域の資源を生かした取り組みとしているが、他庁舎とも連携しながら、市全体としての取り組みに高めていけるよう考えていきたい。
委員	移住してもらえらるための事業についてお聞きしたい。
地域振興専門員	移住定住事業は本所地域振興課で行っている。市では首都圏や仙台市で移住フェアを開催し、移住者に対しては、米、味噌、しょうゆ1年分の支援を行っている。県事業としてアパート家賃補助として月1万円補助を1年間行っており、移住支援金は首都圏から移住・就業された場合、夫婦と子供2人世帯で300万円となる。鶴岡市では20代後半から30代の年代が転入超過となっており、山形県でも珍しい。ご夫婦のどなたかが鶴岡市出身者で、子連れでのUターン移住も増えている。
委員	鳥獣被害対策が大きな課題であるが、最近はワラビなど山菜の盗難も増えている。警察へ相談した際、証拠がないとだめだと言われた。監視カメラを設置した方が早いとも言われている。電気柵の他に監視カメラの設置もお願いできないかと考えている。
産業建設課長	鳥獣被害対策としては、鶴岡高専と共同で人や動物を感知して撮影するカメラを設置し、通過したのが人かサルかをパソコンで判別する実証実験に取り組んでおり、将来的には、サルの群れの通過を感知して集落に連絡できる仕組みを目指して開発を行っている。この仕組みが盗難対策に適しているかは分からないため、具体的な対策としては今のところない。今後検討させていただきたい。
委員	朝日中央コミセンの調理室を使用したいが冷暖房設備が故障しているので夏場の使用が厳しい。「健康の里ふつくら」の調理室の設備も良く冷暖房もあってとても良いが、冬期間加算のある利用料について、予算的に難しいことがあった。朝日中央コミセンの調理室に冷暖房設備を付けてもらうことはできないか。

総務企画課長	朝日中央コミセン調理室の利用実態が手元にはなく何とも申し上げられないが、施設利用状況や活用の仕方などで空調設備は検討が必要であり、ただいまのお話を伺うと、「健康の里ふっくら」の調理室が施設は新しく、機能的な形で整備されている。朝日中央コミセン調理室を修繕しなければならない理由を整理し、整備を検討することになる。
委員	集落支援員の業務内容を教えてもらいたい。
総務企画課長	資料 3-1 地域振興計画案の P10(2)-①に記載しているが、住民主体による地域の実情に応じた集落対策を推進するための集落間のつなぎ役として、朝日地域では集落支援員を継続して配置している。具体的業務は、集落巡回・点検及び課題整理を進め、住民同士の話し合いの促進や集落ビジョン策定への指導や助言、集落ビジョンに基づく実践事業に対する支援などを行っている。現在、大泉地区で地域ビジョンを策定中であり、策定委員会には集落支援員が加わり話し合いが行われている。鶴岡市では温海地域と朝日地域に1名ずつ集落支援員を配置している。
委員	集落の問題を洗い出して、話し合いで解決するための支援を行うのか。
総務企画課長	地域に入るところからスタートして、地域の問題解決の支援を行っている。これまでの取り組みとしては、今年度に策定予定の大泉地区「地域ビジョン」、近年では大網地区で「小さな拠点づくり」のモデル地区となり「地域デザイン」を策定するなど、集落支援員が地域と関わりながら将来の目指す姿である計画の策定を支援している。
委員	①集落支援員の支援を受けたい場合はどのようにしたら良いか。②これまでの集落支援員の取り組みを教えてもらいたい。
総務企画課長	①庁舎総務企画課まで連絡いただきご相談いただきたい。 ②平成 23 年度から集落対策事業のモデル集落を選定し、住民同士の話し合いや集落ビジョンの策定に対する支援として、集落支援員が指導・助言を行ってきた。平成 23 年度には大鳥地区に入らせていただき、おおむね 3 年をかけて地域の課題を整理した上で集落ビジョンが策定された。平成 24 年度には上村、田麦俣、関谷の 3 集落、平成 25 年度は中村、下村の 2 集落で集落ビジョンが策定されてきた。
支所長	地域の将来像となる計画づくりに集落支援員が参加してきた経緯があり、それらを踏まえて大鳥地区では地域おこし協力隊員を受け入れていただくなど、集落支援に繋がる活動を行っている。
委員	チームWaGeSho（ワゲショ）の今年度の活動について、先日、東北公益文科大学の先生からも出席いただき振り返りを行った。チームメンバーからは、大鳥池登山が一番楽しみながらも達成感を感じられたとの声があった。私の友人も昔を懐かしんで大鳥池登山をしたいとのことだったので、若い世代だけでなく世代を超えて参加できるイベントや、県外転出された方も参加できるイベント開催などにも取り組んでいきたいので、その際にはぜひご協力をお願いしたい。
委員	地域では消防団の来年度新入団員がいない状況にある。人口減少も要因だが、朝日地域からというより鶴岡市からも転出するケースがある。根本的な課題を追求しないと解決は難しいが、これらの事業に取り組みながら、これだけでは対応できないと思うので、何か一つ付け加えて変えていくなど、長い目で見ていくしかないと考え

えている。

また、朝日地域には高齢者が多く、デジタル技術の活用が通用するのにか心配される。私も職場で毎年新しいデジタル技術が導入されて何とか追い付いている状況。今後は高齢者も含めて、デジタル技術を活用するための支援が必要になると思う。

総務企画課長

朝日庁舎の改築にあたりデジタル技術活用のお話をいただいている。仰るとおり、高齢者の方々は特にデジタルに抵抗を感じている。デジタルを使える方が使い易い仕組みを考えている。窓口でのデジタル化の取り組みとして、遠隔地にお住まいの方と庁舎を繋いだ手続きや、タブレット端末を設置してどなたでもデジタル技術を使った手続きができるようにするなど、デジタル化がゴールではなく、デジタル化により暮らしやすいように環境を整えていきたい。また、地域まちづくり未来事業の「朝日地域共創プロジェクト支援事業」の取り組みを行うことで、地域において身近な人が身近な人にデジタルを教えるための仕組みづくりを進めており、今後はデジタル技術を使える人を増やすだけでなく、教えられる人を増やすことを計画している。委員の皆様からもこの取り組みに協力をいただきたい。

会長

①私の自治組織では若い年代の方が結婚して地域外に転居しても消防団員であり、地域には消防団員が1人～2人しか常時住んでいない状況で、自主防災組織として何かあった際の初期対応は自治組織で対応するしかないと考えている。自主防災組織の強化は各自治組織に任せられているが、1月に地震も発生し、それらの教訓を生かして地域での避難訓練など行政ではPRして進めていかなければならないだろう。自主防災組織への支援物資や用具等の充実への支援について、順次必要な所に整備するとの情報もあるようだが、今後どのように進めていくのかお聞きしたい。
②デジタル技術を使うための人材育成を行うとのことだが、人材の組織化をしながら企画力を高めるための人材育成が必要だと考えられる。地域のスマホ教室を行うことで、高齢者でも電子マネーを利用するなどスマホの活用が遅れを取らない学びの機会をつくり、地域の良さや様々な事業をSNS発信するなど企画ができる人を育てていく必要がある。地域づくりに繋がる人材を育てていくためには、各自治組織の公民館へのWi-Fi設備の支援も問われるのでは、と思っている。

総務企画課長

①令和4年度に鶴岡市の防災訓練を朝日地域で開催し、多くの自治会の皆様よりご協力いただき、今年度は朝日中央地区自治振興会の主催で統一した形で防災訓練が行われた。自主防災組織については、現在、市住民自治組織総合交付金の中で費用負担しているが、自主防災組織単位の具体的な取り組みまでは把握していないところである。防災グッズに関して朝日地域では、段ボールベット、発電機、投光器等については若干ではあるが準備しているが、それが一次避難所、二次避難所に全て配布できる状況にはない。石川県での地震も踏まえて今後、追加を検討していくことになるが、基本的には住んでいる地域で避難所開設などを進めていただくことが一義的であり、行政としてもできるだけ支援していきたいところではあるが、現状としては進んでいない状況にある。

②今回の地域振興計画に地域デジタル人材の育成を入れている。先ほどWaGeSho（ワゲショ）の話題が出されたが、今まで繋がりなかったところに緩やかな人的ネットワークをつくっていききたいと発案されたが、その取り組みにデジタル人

材の育成も加えていければと考えている。育成する人材に企画力が必要であることは認識している。一人だけで何かをしても企画力は育むことが難しいが、WaGeShoの活動や朝日地域共創プロジェクト支援事業でのデジタルの指導などに関わる人達を核としながら、徐々に組織へと広げていければと考えている。今回の地域振興計画では、初めてデジタル人材の育成を掲げており、今後、朝日地域として特に重要な事項として支援を考えていきたい。現状では各自治組織の公民館へのWi-Fi設置への支援策はないが今後検討する。

委員

朝日地域振興計画について、今までも自然環境を要因とする不利益をどのようにカバーするかということで、第1次産業振興が中心となり第3次産業振興の中でも湯殿山スキー場の振興、また高校生通学費補助など事業がある。この計画にはない子育て支援全般や商工業振興は市全体の施策として総合計画に一括して載せているということであった。特に申し上げたいのは、鶴岡市の中でも朝日地域の施策があるので、実態に即した振興策を進めてもらいたい。

支所長

先ほどご意見ありました子育て全般や商工業に関しては、市全体の総合計画に記載している。特に朝日地域に限って置かれている環境に違いがある部分への支援が必要とお話だったが、現在対応可能な支援策として地域振興計画に記載させていただいている。ご意見いただいたことは、引き続きの検討とさせていただきたい。

その他 なし

5. その他

総務企画課長

他に皆さまから何かございますか。
なければ閉会のご挨拶を会長にお願いしたいと思います。

会長

皆様お疲れ様でした。これを持ちまして、朝日地域振興懇談会を閉会させていただきます。ありがとうございました。

(終了 20時20分)